



岩田とも子

県議会レポート



NO.
39

発行所／〒861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14
連絡先／立憲民主連合 TEL:096-333-2644
FAX:096-387-5223
E-mail : tomokorin.berurin@icloud.com
HP : <http://www.webrun2.jp/tomo-tomo55/>

ご挨拶

日本原水爆被害者団体協議会(被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。昨年12月10日にオスロで授賞式が行われ、代表委員の田中熙巳さんが演説をされました。歴史上未曾有の被人的な被害を再び繰り返すことのないように核兵器の廃絶を訴えられました。私たち一人一人がこの思いを共有し、平和を守っていきましょう。

【熊本県議会のホームページ】

県議会インターネット
中継・録画は
こちらよりご覧ください



11月議会報告

11月議会は、11月29日から12月17日まで開催されました。開会日の知事説明の中で、木村知事が話された県政の動向についてお知らせします。

一つ目は、知事の4カ年計画である「くまもと新時代共創基本方針」の策定についてです。

これまで、渋滞解消や地下水保全などの喫緊の課題に5つの推進本部を設置し、対応策を検討推進してきたり、観光文化部の新設や食のみやこ推進局、国際・くまモン局の設置で庁内組織の強化を行ったりしてきたとのこと。基本方針では、①こどもたちが笑顔で育つ熊本②世界に開かれた活力あふれる熊本③いつまでも続く豊かな熊本④県民の命、健康、安全・安心を守る4つの基本的方向性を実現させるとのことでした。

二つ目は、旧優生保護法に基づき不妊手術等を受けられた方への対応についてです。10月17日に不妊手術等を受けられた方などへの新たな補償金等の支給法が公布されました。県内2名の方が提訴されてい

た旧優生保護法に係る訴訟について、福岡高裁において和解が成立しました。1月17日から、保証金申請の受付が始まるにあたって、県としては制度周知や相談体制の整備など被害者に寄り添った対応をおこなっていくということです。

三つ目に阿蘇くまもと空港の国際線ネットワークの拡大・強化についてです。

四つ目は、球磨川流域の創造的復興と「緑の流域治水」の推進についてです。新たな流水型ダム の環境影響評価完了後も、治水効果の最大化と環境影響の最小化に向け更なる検討が行われます。今議会では多目的ダム法のもとでの建設計画の廃止にあたり、県として異議がないという意見を述べることになりました。

五つ目は、高病原性鳥インフルエンザの国内発生に伴う対応に万全を期すということです。

六つ目は、パリ2024オリンピック・パラリンピックメダリストへの表彰についてでした。

11月議会に上程された補正予算は113億円の増額、これまでと合算して8741億円となりました。

主なものは次のとおりです。

- 令和6年台風第10号への対応 26億6700万円
- 国家戦略特区制度を活用した外国人材の受け入れ促進 100万円
- 観光プロモーション推進事業 400万円
- 畜産営農継続に向けた取り組み 1200万円
- 公費負担医療におけるDXの推進 5100万円
- 旧優生保護法補償金等支給法成立に伴う対応 500万円
- 施設管理等関係 (213件) 137億円
- 人事委員会勧告のあった職員の給与改定の実施 50億円

その他報告や人事案件等全て賛成多数で可決されました。私も紹介議員となった「私学振興」の請願はまたもや総務委員会で否決されましたので、幸村議員が採択否決に反対する討論も行いましたが、本会議でも否決されました。私学に通う生徒さんや保護者からの意見がスルーされた形です。「子どもまんなか」の具体化って何なのか疑問です。

11月議会の気になる一般質問と答弁

香害や化学物質過敏症に対する日常生活困難者への対応について幸村議員が質問をされました。各市町村への周知と保健所での健康相談を受け付けるとのこと。

半導体製造における地下水採取量の削減と地下水利用合理化計画については複数の議員が質問をされました。「企業にもしっかり求めていく」「工業用水をすすめていく」などのふわっとした答弁でした。

カスタマーハラスメント対策については、同会派の西議員が質問されました。「暴言や侮辱を受け、健康を崩す職員もいる実態は昨年9月アンケートをとって把握している。今年もアンケートを実施し、まとめている。マニュアルの検討を進める」との答弁がありました。

中学校の部活動地域移行については、「人材バンク165人の登録があり、これから実証していく」との答弁でした。かかる費用や報酬を考えなければいけないと思います。

みなさんに紹介したい本



「平成百姓一揆」 内田敬介著

今日、わが国の食料自給率が38%、令和の米不足騒動に国民は不安にかられている・・・30年前わが国は農業危機を迎えていた。とくに米の輸入自由化がさしこまれていた・・・と始まる本です。内田さんは美里町で有機農業をされていて、私も以前からお世話になっている方ですが、知らなかったことがたくさんありました。30年前、米輸入自由化阻止のため農業者が国会に突入したのです。ちょうど細川内閣の頃です。今、改めて、農業政策は抜本的な改革が必要だと気づかされます。

岩田とも子の政治活動



熊本女性議員の会の政治塾で、現議員の方々の取り組みを伺いました。



連合熊本熊本地域協議会委員会で連合議員団団長としてご挨拶しました。



シンママ熊本応援団の活動日はたくさんのママや子どもたちとともに活動しています。



埼玉大学の学生たちと川辺川ダムや球磨川流域治水についての意見交換をしました。学生たちは行政や議会でレクチャーを受け、現地調査にもいきました。彼らの考える地域課題解決がまとったら見せていただきたいです。

Instagram



facebook



SNSやってます!

フォローしてくださいね!